

(別紙4(2))

事業所名 グループホームウエル城北

目標達成計画

作成日: 令和元年 8 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に対する職員の意識のスキルを更に向上させたい	身体拘束に対する職員の意識を更にスキルアップして底上げを目指していく。	身体拘束廃止委員会や社内研修にてスキルアップ。社外の研修にも積極的に参加し、情報の共有により職員のスキルの底上げをしていく。 身体拘束廃止委員会のファイルの整備。	12ヶ月
2	35	火災や自然災害の際、全職員が慌てる事なく対応出来るか	火災や自然災害に備えて、慌てる事なく対応出来るようにする。	年2回の訓練のほか、カンファレンス等で繰り返し、復習して身につける。備蓄品や防災用品を定期的に確認する。備蓄についてもメニューを検討。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。